

# フォトニュース

おにに負けないぞ!



▲2月3日、猪名川保育園で節分の行事が行われました。

いざ赤おにとの対決では、おにを怖がって逃げだしてしまった園児もいましたが、「おには外!福は内!」と掛け声をかけて、一生懸命豆(紙をまるめたもの)を投げつけて戦い、最後にはおにと仲良くなることができました。

## 氷のシャンデリア



▶鎌倉地区の「猪名川不動尊」では、高さ十数メートル、幅3メートルの滝の流れに沿って無数のツララが連なり、訪れる人を驚かせています。  
ツララは、大きいもので長さが約60センチ、直径約5センチあり、自然の神秘をかもし出しています。

## ハタチの誓い



▲1月10日、成人式が文化体育館で行われました。

今年の対象者は321人でした。

式典後、「若人の集い」として、漫才やビンゴ大会、恩師からのビデオレターの上映、茶話会が行われ、旧友との再会に会話がはずみました。

## いながわ 歴史ウォーク 95

### 猪名川町の養蚕と製糸工場

幕末の開国から第二次世界大戦まで、貿易輸出で首位を占めたのは生糸でした。その利益は近代の産業社会の礎となり、製糸業の保護・指導・調査が盛んに行われました。

撰津では、明治初年に能勢郡のみだった養蚕が、明治後期には川辺郡でも行われるようになりました。

猪名川町域では、明治34年(1901)蚕の飼養戸数は111戸で郡内の0.8%、それに対し生産量は154石で郡内の約41%、養蚕業への期待が大きかったことがしのべれます。

また、中谷村より六瀬村で養蚕が盛んで、製糸(繭糸)も同年の中谷村では自宅1戸、六瀬村では製造所4戸、自宅28戸でした。



▲川六工場(西本工場)跡地

六瀬村には、明治29年(1896)6月に器械織工場「川六工場(西本工場)」が設立され、これは川辺郡唯一の製糸工場(生糸)でした。同35年には金数15、工女12人、生糸製造高340斤、動力は水力で、39年には金数20、工女20人、生糸製造高406斤、動力も蒸気力となっていました。稼働日数が少なく、操業10年で閉鎖されました。

## 学校が博物館に!



▲1月20日~同26日、楊津小学校で学校キャラバン「ひとはくがやってくる in 楊津小学校」が開催されました。

初日の20日には、児童が化石のレプリカ作りに挑戦。「本物の化石をさわるのは初めて。」といった歓声をあげながら、三葉虫やアンモナイトのレプリカを作りあげました。

また、体育館にはティラノサウルスの頭部レプリカやアンモナイトの標本などが展示され、学校が博物館に様変わり。児童達は迫力ある標本に興味した様子でした。

## 合同防災訓練を実施



▲1月16日、文化体育館で、平成22年度阪神広域防災訓練・猪名川町防災訓練を実施しました。町内自主防災会、阪神地区の各市、兵庫県、警察、陸上自衛隊、防災関係者など総勢約1500人が参加しました。  
訓練終了後、福田町長は「この訓練により体験・会得した内容を、今後の災害対策本部の運営に生かし、住民の生命と財産を守るために、本町の防災態勢のより一層の強化を図っていききたい。」と語りました。

# 輝く新春

久保田 紫帆

▲学校を一つにという大きな目標を持ち、この一年輝いていきたい。  
久保田 紫帆さん(2年)



六瀬中学校



▲鉛筆の傾きを変えるなどして、タッチを工夫し、立体感を出した。  
森下 菜さん(3年)

◀背景にたくさんのモノを描き絵を描くことの楽しさを表現しました。  
岡本 美咲さん(3年)

# 輝く新春

東山 大輝

▲輝く初日のよう、煌く一年に全力投球。  
がんばるぞ!  
東山 大輝さん(2年)